

テーマ	『家庭環境に課題のある児童生徒への働きかけ』
-----	------------------------

1 達成に向けた手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・SSW・教職員・関係機関と役割分担を考える。 ・ケース会議の時にそれぞれの役割分担を明確にする。 	

2 取組の成果と課題	
成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○【生活保護世帯＋外国籍のケース】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護ケースワーカーが男性のケースで、保護者との面談に繋げるために、ケースワーカーに同行して面接を実施した。 ○【精神疾患の保護者のケース】 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員へSCによる精神疾患の保護者への対応について研修を実施し、ロールプレイを体験した。 ○【父子家庭の支援について】 <ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭で登校できない子どもへの支援が増えている現状について、事例検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●顔つなぎ場面では、生活保護ケースワーカーとの面談を活用することで、上手くつながることができた。しかし、ケースワーカーとSSWでは面談時の焦点が違っているため、保護者との面談は別々に対応することになった。 ●役割分担をして、対応窓口を担当ではなく、管理職に明確化した。研修を通して、先生方の知識と理解が深まった。 ●生活上の困り感から行政との連携をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・父との連絡や家庭訪問について、日程調整が難しい。 ・子育てについての話をしても、理解が進まないことが多い。家庭の中でのコミュニケーションが難しいケースもある。

3 次年度に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールを作成して、実施する。 ・各支援者が持っている情報を集約し、共有できる方法を探る。 ・SSWの視点を取り入れて、関係機関等の情報収集を行う。 ・関係機関との関係づくりに注力する。 ・年度の終盤では、意識的に関係機関へ次年度を意識した連携を行う。 	